

(仮称) 揖斐川大野トンネル本体工事貫通式

十二月五日(月)、揖斐川町長良地内において、(仮称) 揖斐川大野トンネル本体工事貫通式が行われました。

揖斐川町長良地内と大野町松山地内を結ぶ二〇五八mの新設道路の中の六九五mのトンネルが、このたび貫通しました。

式典は、県議会議員をはじめ県関係機関、揖斐川町、大野町両町議会議員、行政推進委員、区長、地権者など多数の来賓を迎え執り行われました。

宗宮町長は、「着工以来、無事故で貫通を迎え、喜ばしく、残る工事も無事故で完成させてもらいたい。」とあいさつしました。



トンネル貫通点にて

ふるさと沙羅林道に花の咲く木の植樹が行われました

池田山頂から明神の森へ通ずる「ふるさと沙羅林道」の道路沿いを愛称である沙羅(ナツツバキ)の木の花でかざり、訪れた方楽しんでいただくために、これまでナツツバキの苗木の植栽を実施してきました。今年も十一月十二日(土)、各種団体のボランティア約六十人の参加により三百本の苗木の植樹と三年目の記念の標柱の設置が行われました。全員が美しい花が咲くことを祈念して一生懸命作業を行っておられました。

この林道からは眼下に濃尾平野、遠くに伊吹山や伊勢湾などが望めますので春になりましたら是非お出かけください。(冬季は積雪などで通行不可能)



植樹の様子

セントジョージ市と生徒交流

十一月十三日(日)に行われたいびがわマラソンの選手団に同行したセントジョージ市の中学生が、十一日に北和中学校を、十四日に揖斐川中学校を訪問しました。

これまで、マラソンへのランナーの相互派遣や町の中学生の海外研修などで交流を行ってきましたが、今年初めて、セントジョージの中学生が揖斐川町を訪れました。

北和中学校・揖斐川中学校では、日本の授業の体験や給食、交流会が行われ、お互いの文化に触れ親睦を深めました。



ミズみずエコステーション体験農園

極楽寺のNPO法人いびがわミズみずエコステーション体験農園において、揖斐郡内の約二十人の親子が参加し約千本の大根の収穫が行われました。この大根は生ごみから作った「土の素」を使い育て、大きいものは四十センチくらいに育っていました。

親子で楽しく収穫したあとに桂川で大根を洗い、おでんをつくり参加者で味わいました。「土の素」を使つたため、甘みもあり大変おいしい大根となりました。また、収穫された大根は、いびがわマラソンの物産展で販売されました。

祖父母と一緒に花もち作り

十一月二十一日(月)、かすが保育園で園児と祖父母が一緒に「花もちづくり」を楽しみました。

薄く伸ばした紅白のもちを細長く切つて小さくちぎつて木の枝に巻き付けます。初めはなかなかうまく枝につけることができませんでしたが、やさしく祖父母に教えてもらいながら付けていきました。木の枝に紅白の花が咲いて「わあーきれい！」と子どもたち。また祖父母の皆さんも「いい触れ合いができたし、正月の立派な飾りができました」と大満足でした。



きれいな花もちができました



たくさん大根が採れました